

広告

宇部興産中央病院医療最前線
—シリーズ患者さんに寄り添う専門医療 ③—

皮膚の 治療について



病院長
武藤 正彦

宇部興産中央病院皮膚科では私他に、女性医師2名の体制で診療にあたっています。

皮膚科は文字通り、皮膚についてのすべての異常を診る診療科になります。生活指導やスキンケア指導の他、発熱を伴う皮膚疾患の点滴治療や、あらゆる皮膚の異常に対して内服や外用薬による内科的治療や、診断と治療をかねて外科的治療(手術)を行います。

特に、皮膚のほくろや皮下のしこりについて、良性のほくろか悪性かという実態はよくわかっていない事例もあり、高齢化に伴い皮膚がんの頻度が増えてきているのが現状です。少しでも気になることがあれば専門家である私たちに、気軽にご相談してもらえればと思います。

宇部興産中央病院 皮膚科で行っている 自由診療

今回は当院皮膚科の特色である自由診療についてご説明します。皮膚科の治療には有効な治療法が保険収載されていない肝斑などの疾患もいくつかあり、当院ではそれらに対して自由診療という形で治療ができるようになっています。

保険診療は1割負担、3割の負担で治療ができますが、自由診療では10割負担になり、経済的な負担があります。また、自由診療と保険診療の混在は保険診療上、認められていないため、自由診療の際に処方された保険適応のある薬についても自由診療として扱われます。

■シミや肝斑^{かんぱん}に対する ハイドロキノン外用



老人性色素斑

日光や刺激の強い化粧品、加齢によりできてしまった炎症後の色素沈着(シミ)や肝斑に対して、「皮膚の漂白剤」ともいわれるハイドロキノンの外用治療があります。ハイドロキノンはイチゴなどにも天然成分として存在しています。化粧品などでも使用されていますので、聞き覚えのある有効成分である

かもしませんが、当院で販売しているのは通常の化粧品より濃度の濃いハイドロキノンが含まれている製品になります。

どのような化粧品でもいえますが、一部の方では肌に合わないなどの理由で皮膚トラブルが起こる可能性があります。ハイドロキノン外用治療の詳しい内容についてご興味があればお気軽にお越しください。

■陥入爪、巻きつめ^{かんじょう}

何らかの原因でできた陥入爪、巻きつめに対して、弾性ワイヤーや人工つめの装着、ガター法により治療します。爪は、体重を支えたり、運動を行うにあたり、非常に重要な器官になりますので、できるだけ抜爪をせず、ご自分の爪を活かす治療を行いたいと考えています。ただし、状態によっては、部分抜爪により治療が必要な場合があります。

通常、初診時に処置を行い、およそ2週間〜1ヶ月で装置を交換します。

そのほかにも、円形脱毛症の局所治療としてSADBE療法、男性型脱毛症の内服治療を自由診療として行っております。



陥入爪

【皮膚科の治療範囲】
内科的治療Ⅱ皮膚感染症(带状疱疹、ヘルペス、足・爪白癬)、皮膚の炎症(乾癬、にきび、アトピー性皮膚炎、湿疹、虫さされ)、水疱症、角化異常症、熱傷、薬疹、白斑、じんま疹 等
外科的治療Ⅱ皮下腫瘍、皮膚腫瘍(ほくろ等)、難治性皮膚潰瘍、外傷の治療



背中にできた乾癬

宇部興産中央病院は**地域医療支援病院**です



〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750番地
地域連携室 ☎0836-51-9421

資格 ●日本皮膚科学会専門医・指導医 ●乾癬、膠原病
●山口大学名誉教授

学会 ●公益社団法人日本皮膚科学会(理事) ●一般社団法人日本美容皮膚科学会(理事)
●日本乾癬学会(理事、乾癬遺伝子保存研究班班長) ●日本時間学会(監事)

活動 平成21年度に厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「希稀難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究」の研究代表者をつとめ、現在に至るまで「生体試料バンク(https://www.bsbank.jp)」の管理・運営に従事、皮膚科領域の指定難病の治療の質向上に向けた開発・研究に力を注いでいる。